

北広島市保健福祉計画検討委員会
第1回 障がい福祉部会

日時：平成25年3月13日（水） 午後6時30分～

場所：北広島市福祉センター ボランティアルーム

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：奥田委員（部会長）
板垣委員（職務代理者）
上林委員
佐々木委員
藤原委員
松坂委員
若狭委員
欠席者：富田委員

◇事務局

木下保健福祉部長
木下福祉課長
奥山福祉課主査
柄澤福祉課主査
川又福祉課主任

◇傍聴者 1名

《議事概要》

1 開会

2 部会長挨拶

3 協議事項：障がい者福祉計画・第3期障がい福祉計画の進捗状況について

事務局：提出資料に基づき、進捗状況を説明

部会長：事務局の説明について、質疑・意見等はないか。

委員：北広島市障がい者自立支援協議会で行っているサポートファイル活用にあたり保護者の了解などはどのように考えているのか。

事務局：協議会で作成中のサポートファイルについては、障がいに限定せず、子の成長過程などを記録した中で、障がいの部分も取り込むような内容を考えておりました。例えば、母子手帳を取得する時などに配布させて頂くということを考えております。生まれた時のお子さんに対するメッセージや、写真を貼るなど保護者が楽しめる要素を取り込んで、なるべく抵抗なく使っていただけるようなものを考えています。

委員：他の市町村のでもこういった物を活用しているところはあるのか。

事務局：道内であれば芽室町など、道外も何ヶ所かこのような取組みを行っております。協議会の専門部会で検討し、既存にあるものの良いところを参考とし、且つ、北広島市の特性を考慮しながら、今素案を作っているところです。障がいの部分については、保護者が転出された場合などに、転出先で保護者が現在までどのような支援を受け、今どのような支援が必要かなどを支援機関等に説明しますが、何度も同じ話をしなくてもいいようにと考えています。

委員：利用は保護者の任意か。

事務局：利用は強制的ではないですが、積極的にこのファイルの活用を使用していただきたいので、ファイルの内容やPRの仕方などを工夫していきたいと考えています。

委員：昨年報告のあった札幌市の知的障がい者の孤立死に関係した、北広島市のその後の取組み状況は。

事務局：昨年は知的障がいの方で、サービスを利用していない方を絞り込んで46人調査を行いました。特に緊急的な事案等の問題はありませんでした。調査後、民生委員に情報提供したのが3名で、あれから1年2ヶ月経っており、再度サービスを使っていない方を中心に改めて実態を確認する必要があると考えています。徐々に始めていますが、早期に確認したいと考えています。

委員 : 重度の心身障がい児者の短期入所先が不足しているということが課題とあるが、今後の見通しは。

ケアホーム等の住まいも重度心身障がい者の方にとって大切だと思うが。

事務局 : 重度の心身障がい児者のなかには、医療的ケアが必要な方もいらっしゃって、実際市内で対応できる社会資源は少ないので、札幌市内の施設を利用している現状です。近年は、札幌の需要も多くなってきておりまして、利用したい日に利用できないという意見を保護者より伺っているので、市として今後取り組むべき課題と考えています。

4 その他

部会長 : その他について事務局から連絡事項等はないか。

事務局 : ありません。

部会長 : それではこれで部会を終了します。

閉会